



念願叶う!?キアンコウの長期飼育

魚類グループ 三浦 弘毅

青森の冬、市場に行くとキアンコウが陳列されています。このキアンコウを見て、いつも思っていました。この魚を長期飼育したいと。

キアンコウは採集した時点で体に傷があると、その部分が徐々に悪化していき、長期飼育に至ることがなく、展示しても数日～2ヶ月ほどで死亡していました。キアンコウの長期飼育の一番のポイントは、傷がなく、なるべく小さい個体を入手することなのですが、当館ではこれまで状態の良い個体を採集できず、苦悩の日々が続いておりました。しかし、今回キアンコウを定置網で状態良く漁獲している漁師さんとの繋がりを持つことができ、満を持して5月23日に乗船採集に行きました。

そして無事に、両手サイズのキアンコウを2尾採集することができました。2尾のうち1尾は、飼育して3日後には生きたヤマメの稚魚を、23日後には魚の切り身を摂餌し、本稿執筆時点(2024年3月末)まで飼育することができています。しかし、これで終わりではなく、いつ来てもキアンコウをお客様に見ていただけるよう、これからも長期飼育の研究をしていきたいと思ひます。



あさむしNEWS

新商品続々入荷中!!

販売グループ 芋ヶ崎 沙織

浅虫水族館内のギフトショップでは、開館40周年を記念して「期間限定オリジナルグッズ」を始めとする新商品を続々と販売しています。Tシャツやトートバッグなど、今までなかったアイテムが仲間入りし、キーホルダーや缶バッジなど定番アイテムのデザインも一新しました。そこで今回は特別に40周年グッズのマメ知識を1つご紹介しちやいます。トートバッグにプリントされた生き物のシルエット、実はよくよく見ると…そう、40匹泳いでいるんです!このようにオリジナルグッズには、職員のこだわりがたくさんつまっています。ほかにもおすすめグッズは随時SNSでも紹介していますのでぜひご覧ください。なお、40周年限定グッズは在庫が無くなり次第販売終了となりますので、気になる方は新商品と合わせてチェックしてみてください。また、これ

からも新商品が続々と入荷する予定となっておりますので、ご来館の際はぜひショップにもお立ち寄りください♪



● 飼育生物

	種 類	点 数
海 水 魚	114	2,014
淡 水 魚	40	1,357
無脊椎動物	50	2,331
両 生 類	12	68
爬 虫 類	2	3
イ ル カ	2	10
ア シ カ	1	3
アザラシ	2	9
ペンギン	1	16
合 計	224	5,811

2024年3月31日現在

● 入館者数

2023年度	一 般	幼児など	入館者計
4 月	16,294	5,247	21,541
5 月	26,651	8,437	35,088
6 月	16,519	6,096	22,615
7 月	24,575	8,273	32,848
8 月	44,748	12,091	56,839
9 月	18,145	6,347	24,492
10 月	16,089	6,171	22,260
11 月	11,720	4,536	16,256
12 月	8,617	3,049	11,666
1 月	12,593	4,869	17,462
2 月	11,374	4,498	15,872
3 月	14,806	5,640	20,446
合 計	222,131	75,254	297,385

表紙説明

開館当時、そして現在の浅虫水族館です。

浅虫水族館は、おかげさまで2023年7月23日に40周年を迎えることができました。40周年記念ロゴにあるように、浅虫水族館は「豊かな水の世界を未来へ」とつなげるため、これからも努力し続けます。

マリンスノー No.44 2024年3月発行

青森県営浅虫水族館
〒039-3501 青森市浅虫字馬場山1の25
TEL 017-752-3377 FAX 017-752-3379
<https://www.asamushi-aqua.com>

Marine Snow

@asamushi aquarium



2024.3

Since 1983

開館40周年を迎えて

2023年7月、青森県営浅虫水族館は、おかげさまで開館40周年を迎えることができました。直前には新型コロナウイルス感染症の流行で、今まで経験した事のない未曾有の危機に見舞われる中、「新しい生活様式」に対応した取り組みを行って参りました。そのような状況でも水族館に足を運んでくださるみなさまに支えられながら、これまで営業を続けることができたことに心より感謝いたします。



横断幕

開館40周年を迎えるにあたり、2030年までに世界が取り組むべき目標として国連で採択されたSDGsに、浅虫水族館としても貢献しなければならないと考え、「豊かな水の世界を未来へ」をテーマに持続可能な社会の実現に向けて活動して参りました。

特に「目標14. 海の豊かさを守ろう」の目標達成に向けて、常設化した「アクア学びうむ〜豊かな地球を未来に〜(※1)」では、水辺の環境問題を入口として、SDGsについて学べる展示を行いました。豊かな地球を未来に引き継いでいくために、自分にどのようなことができるのかを学んでいただける内容となっております。



アクア学びうむ

また、節目の年ということで、多くの企画・展示を行いました。以下、ほんの一例を紹介いたします。

①子どもに大人気の2階タッチコーナーをリニューアルいたしました。子どもたちが生き物に触りやすいように水槽の底上げを行い、より間近で生き物を観察できるようになりました。

②開館から現在に至るまで、水族館の40年間の歴史を写真やエピソードで紹介する巻物風の歴史年表(※2)をいるか館通路にリニューアル展示いたしました。歴史年表をご覧になりながら浅虫水族館の楽しかった思い出を振り返ることができるようになりました。

広報企画グループ 石田 勝則



①タッチコーナー



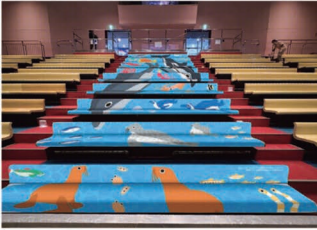
②歴史年表

③新設した「おらほのめんこちゃんコーナー(※1)」では、1階イベントホール隣りで「未来へつなぐ大切な命」のコーナーとして、クリオネや稚魚、クラゲの幼生など小さな生物を展示いたしました。海洋環境の悪化や増養殖事業についても紹介いたしました。

④水族館で展示している魚をいただいている漁師さんへの感謝を込めた「漁師さん展」を1階イベントホールで開催いたしました。漁師さんなしでは水族館は成り立ちません。水族館が日頃からお世話になっている漁師さんを、みなさまにより身近に感じてもらえるように、漁師さんへの愛を込めた企画展となっております。



③おらほのめんこちゃんコーナー



④優先シート

⑤イルカプール客席に優先シート(※2)を設置いたしました。開館40周年を記念するとともに、妊婦の方やお子さま連れの方など配慮が必要な方への理解や協力を促し、お互いに気づかいができるやさしい社会を目指す取り組みである「こどもファスト・トラック」の趣旨に浅虫水族館も賛同したものです。

そして、7月23日開館記念日には、40周年記念セレモニーを開催いたしました。宮下青森県知事からお祝いのビデオメッセージを賜り、5月に生まれたゴマフアザラシとゼニガタアザラシの赤ちゃんの命名式、体験メニューと記念品の贈呈、40周年記念動画投影を行いました。最後に、知事からのサイン出し(映像)の合図で、新イルカパフォーマンスをお披露目し、大いに盛り上がりました。

「青森を元気にする!」ため水族館スタッフ一丸となって、みなさまに愛される水族館を目指して頑張りますので、これからも浅虫水族館を何卒よろしく願いいたします。

(※1) 本展示物は船の科学館「海の学びミュージアムサポート」の支援を受けて実施しました。

(※2) 青森県を担う子どもたちの情操教育のために役立ててほしいと青森市民からの善意の寄付金により実現しました。

2頭のアザラシの赤ちゃん誕生!

海獣グループ 宮西 優輔

2023年の5月、海獣館で新たな命が相次いで誕生しました。9日にゴマフアザラシの「メイ」が、17日にゼニガタアザラシの「静(しず)」がそれぞれ出産したのです。同じ年に2頭のアザラシが誕生するのは当館初の出来事です。

ゴマフアザラシの幼獣は、父獣である「きぼう」から『大きな希望』という思いを込めて「だいき」と名付けました。

2023年4月下旬、母獣であるメイの摂餌が不安定になり、上陸する頻度が増えました。出産の兆候であると判断し、夜間観察を開始。その後5月9日午前1時頃「だいき」が誕生しました。しかし、娩出後のだいきは動きが鈍く、メイが授乳姿勢になっても反応しません。その後も授乳は確認出来ず、「だいき」の衰弱が懸念されたため、人工哺育を開始しました。当館では2例目の人工哺育となります。今回も万ーに備え、人工哺育の準備をしていましたが、実際に行うのはとても難しく、試行錯誤が続きました。人工哺育では母乳の代わりに「海獣用ミルク」に「サーモンオイル」を添加したものを、2〜3時間に1度与えました。ミルクをなかなか飲んでくれなかったり、一時は軟便になったりと、どうなるか不安でしたが、徐々に体重は増加していき、6月には体重21.2kgになり、無事離乳することができました。離乳後も、なかなか自力で魚を摂餌することが出来ずに苦労しましたが、今ではすっかり魚を食べることが上手になりました。誕生時の体重は7.5kgでしたが、2024年1月末には37.8kgまで成長しています(写真1)。

ゼニガタアザラシの幼獣は、5月生まれの星座であるおうし座

の中にあるプレアデス星団の和名から「すばる」と名付けました。

2023年5月17日母獣の「静」が日中、度々上陸するようになりました。18時頃には臍から新生仔毛が排出され、20時18分頃「すばる」が誕生しました。誕生後すぐに、「すばる」は展示プール内を活発に動きまわり、1時間後には授乳が確認されました。生後2日齢で行った初めての体重測定の際は、18.5kgでしたが、1か月ほどで35kgを超えました。2024年1月末には、46.6kgまで成長しています(写真2)。

私自身、アザラシの出産に対応するのは初めてでしたが、無事誕生し、順調に成長していることをうれしく思います。「だいき」の人工哺育の経験は、次回以降の繁殖にも活かしていきたいと思います。ぜひ、2頭のアザラシに会いに遊びに来てください。



写真1. だいき



写真2. すばる

漁師さんへ愛を込めて!企画展「漁師さん展」

魚類グループ 坪田 朋花

浅虫水族館で展示している魚たちは、どこからやって来ますか?実は漁師さんの協力により、水族館にやって来た魚が数多くいます!浅虫水族館が40年間様々な生物を展示し、お客様に喜んでいただくことが出来たのは、手間を惜しまず、快く協力してくださった、たくさんの方の漁師さんのおかげです。そこで、これまで浅虫水族館が関わってきた漁師さんに感謝の気持ちを伝えたいと思い、企画展「漁師さん展」を2023年10月20日から2024年3月31日まで開催しました。展示内容は普段からお世話になっている漁師さん数名に、スタッフが実際に漁師になったきっかけや仕事に対する想いなどを聞き取り、そのインタビュー内容をイラストを交えたパネルにしたものです。

この企画展を通して我々スタッフは、長く繋がりのある漁師さんの新たな一面を知ることができたり、ご自身の仕事に対する想いを初めて聞けたりと、とても新鮮で、楽しく企画を進めさせていただくことが出来ました。

浅虫水族館40年間の歴史の中で漁師さんの存在は大きく、

これからも欠かすことは出来ません。当館を訪れたお客様にはこの企画展をご覧いただいて、漁師さんの仕事に関心と興味を持つきっかけとなればうれしいです。



漁師さん展